



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 ZOA
コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 055-922-1975

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,229	△10.4	249	△12.6	252	△12.7	177	△12.3
2023年3月期第2四半期	4,719	2.3	284	0.2	289	0.8	201	2.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	141.49	—
2023年3月期第2四半期	138.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,003		2,597			51.9
2023年3月期	5,152		2,474			48.0

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 2,597百万円 2023年3月期 2,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	58.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	0.8	545	1.3	550	1.0	375	0.6	299.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,454,000 株	2023年3月期	1,454,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	200,700 株	2023年3月期	203,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,251,648 株	2023年3月期2Q	1,454,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行したことにより、行動制限が解除されたことで社会・経済活動が正常化されつつあり、飲食や観光などで消費の回復が見られました。一方で、物価高とエネルギー価格の高騰が消費意欲を抑制する効果は大きく、景気を下押しするリスクも持続しております。

当社が属するパソコン市場に関しては、コロナ禍以降におけるリモートワークや巣ごもり需要による特需の反動減により、非常に厳しい市場環境となっております。

このような状況下で当社におきましても、主力であるパソコン本体の販売が減少し、売上が減少しました。

また、インターネット通信販売事業においては、夏場にバイク用品の販売は回復したものの、グラフィックボードやマザーボード等の組み立てパソコン用パーツが前事業年度に比べて販売が低迷し、売上が減少しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高4,229,954千円(前年同期比10.4%減)、経常利益252,950千円(前年同期比12.7%減)、四半期純利益177,101千円(前年同期比12.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は3,973,300千円(前年同期比13.6%減)、粗利は1,115,846千円(前年同期比8.1%減)となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

(パソコン事業)

パソコン事業の売上高は2,219,322千円(前年同期比13.2%減)、粗利は783,013千円(前年同期比2.9%減)となりました。

パソコン事業においては、買い控え等の理由からコンシューマ向け事務用パソコンの販売低迷が大きな要因です。また液晶ディスプレイ等の周辺機器販売も減少しております。

パソコンの販売が厳しい状況ではありますが、当社の収益の柱でもありますサポート(初期設定及びデータ移行等)受付率は70%を超える水準まで上昇しております。同様に注力しております出張サポートの依頼件数も増加しており、前第2四半期累計期間に比べて13.5%の増加となり、収益向上に寄与しております。販売が厳しい状況においても、サポート対応を強化することで、収益を確保できる体制が構築されていることが当社の強みであります。

しかし、コロナ禍における巣ごもり需要の反動減や台風2号の影響、及び夏場の猛暑に伴う来店客数減少を受けて、売上高は前第2四半期累計期間よりも減少し、粗利に関してもサポート強化により収益性は向上したものの、売上減少をカバーするには至りませんでした。

(バイク事業)

バイク事業の売上高は134,500千円(前年同期比21.0%減)、粗利は53,394千円(前年同期比19.7%減)となりました。

バイク事業においては、通信販売へシフトしている傾向が続いていることに加えて、不安定な天候によりバイクの利用機会が減少していると考えられ、店頭販売は減少傾向にあります。

(インターネット通信販売事業)

インターネット通信販売事業の売上高は1,619,477千円(前年同期比13.6%減)、粗利は279,438千円(前年同期比18.2%減)となりました。

インターネット通信販売事業においては、ゲーミング関連の周辺機器及びデバイスが好調に推移しております。

反面、先述のとおりパソコン用パーツの低迷、バイク用品については夏場に販売が回復したものの、春から夏までの天候不順等を要因とした販売の減少をカバーするには至らず、前第2四半期累計期間を下回る状況であります。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は256,653千円(前年同期比114.6%増)、粗利は46,774千円(前年同期比123.1%増)となりました。

不動産事業においては、事業を開始して2年目となり、事業の成熟度が高まりつつあることに加えて、大型案件の成約がなされたことで、売上高・粗利ともに前第2四半期累計期間を上回る実績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて148,855千円減少し、5,003,282千円となりました。その主たる要因は、売掛金が94,492千円、商品が96,016千円それぞれ減少し、現金及び預金が12,469千円増加したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて271,791千円減少し、2,406,072千円となりました。その主たる要因は、買掛金が199,446千円、長期借入金が39,139千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて122,936千円増加し、2,597,210千円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は51.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕 (非連結)」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,693	671,163
売掛金	447,817	353,325
商品	1,996,135	1,900,119
販売用不動産	123,513	132,437
その他	161,271	160,743
貸倒引当金	△1,509	△1,296
流動資産合計	3,385,924	3,216,492
固定資産		
有形固定資産		
土地	943,465	943,465
その他(純額)	236,256	251,056
有形固定資産合計	1,179,721	1,194,522
無形固定資産	18,828	18,410
投資その他の資産	567,663	573,856
固定資産合計	1,766,213	1,786,789
資産合計	5,152,138	5,003,282
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,904	432,457
1年内返済予定の長期借入金	469,936	487,467
未払法人税等	106,635	88,019
賞与引当金	30,810	32,753
契約負債	298,695	285,541
その他	187,086	182,113
流動負債合計	1,725,069	1,508,352
固定負債		
長期借入金	845,568	788,898
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	103,093	104,688
固定負債合計	952,794	897,719
負債合計	2,677,864	2,406,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	2,074,299	2,178,865
自己株式	△266,657	△262,631
株主資本合計	2,463,381	2,571,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,892	25,236
評価・換算差額等合計	10,892	25,236
純資産合計	2,474,274	2,597,210
負債純資産合計	5,152,138	5,003,282

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,719,396	4,229,954
売上原価	3,483,753	3,067,333
売上総利益	1,235,643	1,162,620
販売費及び一般管理費	950,854	913,559
営業利益	284,789	249,061
営業外収益		
受取手数料	3,452	3,140
その他	3,398	2,582
営業外収益合計	6,851	5,722
営業外費用		
支払利息	1,770	1,833
その他	0	—
営業外費用合計	1,771	1,833
経常利益	289,869	252,950
特別利益		
固定資産売却益	2,287	—
関係会社清算益	—	2,629
特別利益合計	2,287	2,629
税引前四半期純利益	292,157	255,580
法人税等	90,264	78,479
四半期純利益	201,892	177,101

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。